

## 調 査 報 告 書 (各委員提出用)

委員会名: 企画建設常任委員会

報告者:



視察先: 群馬県上野村	視察日: 平成 28 年 8 月 3 日
<b>本市の課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市独自の林業施策がその効果を発揮できないまま経年経過している。</li> <li>・ペレットのさらなる発展のための有効手段に乏しい。</li> <li>・85%10 万ヘクタールの森林を、どの様な視点で活用していくのか明確なビジョンがない。</li> </ul>	
<b>視察で参考となった事項</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自給自足の町をめざす」と、村長、村議会、自治体職員、村民全ての人が同じ方向を向いて活動が展開されている。</li> <li>・林業を柱として、定住施策、経済施策を展開し、村にある森林資源を余すことなく活用する事で、地産地消エネルギーとして利用。さらに経済としても地域循環している。</li> <li>・財政赤字を林業に集中させる。→そのことで他の事業を活性化させる。</li> </ul> <b>◇上野村の森林整備事業</b> <p>材を集める（雇用創出）→良質な材は木材市場へ、低質材はペレット製造（雇用創出）→ペレットストーブ・木質バイオマス発電→きのこセンターの電気として利用（雇用創出）</p> <p>※材を集めるために一般会計から年間 2000 万円を補填。※バイオマス発電事業に一般会計から年間 700 万円を補填。※きのこセンターの電気代 400 万円減。</p> <p>一般会計からの補填によりこの事業が賄われている事にはなるが、森林事業としてではなく、雇用創出による I、Uターン定住者増など効果は村全体に波及しており、村の活力を維持している。</p>	
<b>提言・その他（庄原市の施策にどのように生かすことができるか など）</b> <p>本市が抱える課題は、人口減少という大きな波の中、農業、林業、商工業、福祉、教育環境にわたり、対処療法的な施策が展開されている状況にあると感じる。本市にとって今一番重要な事は、将来を見据えた「覚悟」である。集中と選択によって、大きな視野にたって課題解決に向けた施策が求められている。上野村においては、林業を柱とした様々な施策によって経済的な地域内循環を生んでいる。経済の地域内循環は本市にとっても最重要課題である。林業という視点から林業施策を検討するだけでなく、一つの施策が本市全体にどの様な効果、影響をもたらすのかを総合的に検討すべきである。その結果、一つの事業に対して集中的な財政措置を行う「覚悟」も必要である。</p>	

※平成 28 年 8 月 26 日（金）までに議会事務局に提出してください。